

鶴舞地区小域福祉ネットワークだより



平成31年3月15日 第1号

発行
鶴舞地区小域福祉ネットワーク
責任者 大井 守

広報誌発刊にあたり

鶴舞地区町会の皆様には、日頃より「鶴舞地区小域福祉ネットワーク」の活動に対しご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本ネットワークは市の要請に応じて平成20年8月に設置され、主に高齢者の生活見守り、児童の下校の安全確保など地域の方々が安心して暮らせるまち作りに努めてきました。

この度、本ネットワークの活動をより広く知って頂くため、広報誌「きずな」を発刊することになりました。今後も定期的に発行していく予定であります。

今後とも本ネットワークへのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

鶴舞地区小域福祉ネットワークの主な活動：4本柱

- ① 鶴舞小学校児童に対する下校時の見守り活動
- ② 独居高齢者などに対する安心生活見守り活動
- ③ 薄暮時の車両パトロールによる防犯・警戒活動
- ④ 古紙など資源回収活動



安心・安全な暮らしを目指して

安心生活見守り活動



お宅を訪れる訪問員

独居高齢者などで日頃の生活に不安があり希望する方に対し、安心訪問員が定期的に家庭を訪問し相談事があれば相談にのり、同時に安否を確認する活動です。

これは民生委員の活動と重なる面があり、互いに補完・連携しつつ活動しています。

担当する訪問員は定期的に研修(フォローアップ研修)を受けており、個人情報保護などには十分留意しておりますのでご安心下さい。現在、約50名の方がこの活動を利用しています。

見守りを希望する方や関心のある方は、民生委員や町会役員にご相談下さい。



民生委員の皆さん

鶴舞小学校児童の見守り活動

近年、市内でも不審者情報なども多くあり、子供たちの安全確保のための対策が必要です。

本ネットワークでは毎月1回、推進員を3班に分け交代で児童の下校時に児童と一緒に歩き見守りをしています。

見守り要員は、「見守りをしていること」

が良く判るように揃いの目立つ服装をしており、抑止力となることも期待しております。



これから児童と一緒に下校です

薄暮時防犯パトロール活動



鶴舞駅周辺のパトロール風景

薄暮時は、交通事故、犯罪などとかくトラブルが起こりやすい時間帯です。

本ネットワークでは毎月1回、薄暮時にステッカーを貼った自動車2台に分乗し地区内をパトロールしています。

またパトロールは単に巡回だけでなく、鶴舞町内、循環器病センター、大蔵屋団地内、鶴舞駅周辺、市原鶴舞インターチェンジ周辺などでは安全上の問題が無いかなど立ち寄り警戒を行っています。

資源回収活動

家庭から出るゴミを減らし再利用するため、

毎月第二土曜日の朝、希望する家庭を町会長や有志が車でまわり、資源回収を行っています。回収するのは古新聞、古紙、古雑誌、ダンボール、ペットボトルなどです。

回収した資源は仕分けをし、売却できるものは業者に売却し、売上金は活動資金とする他、町会活動などにも助成しております。

回収を希望する方はお知らせ下さい。

また、推進員の多くが高齢化しており活動に支障が生じることもあり、ご協力頂ける方を募っております。



雪の中での回収作業、寒い！

編集後記

この度、広報誌「きずな」を年2回、春と秋に発行することになりました。鶴舞地区の安心・安全な暮らしを目指して活動しますので、よろしくお願い致します。